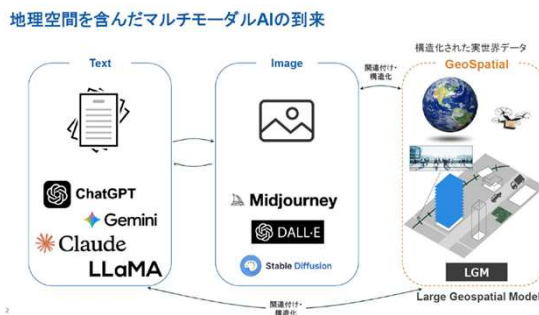


# 「ジオAI研究会」中間整理(概要)(令和8年5月)

**地理空間情報（G空間情報）とAIの融合（ジオAI）**により、より広い分野で、より多くの人に、より深く、G空間情報の活用を推進し、防災・減災やインフラ管理、スマートシティや不動産、ロボティクスや自動運転など、多様な社会課題の解決や生産性向上を図るため、**産学官による取組の方向性を整理。**

## 1. 課題認識

- 地理空間情報は質・量ともに充実。
- 一方、現状のAIは、地図や地理空間情報の意味解釈が苦手との指摘。



## 2. ジオAIが目指す姿・価値

- 「地理空間情報を適切に処理できるAI」の構築により、人間の地理空間的・時系列的な認識能力を拡張。（統合性、先行・予防性、迅速性、再現性、拡張性）
- 機能は、AI for GIS（データ整備、可視化・データ分析）やGIS for AI（推論・提案・行動）に分類され、相互補完的な進化を期待。

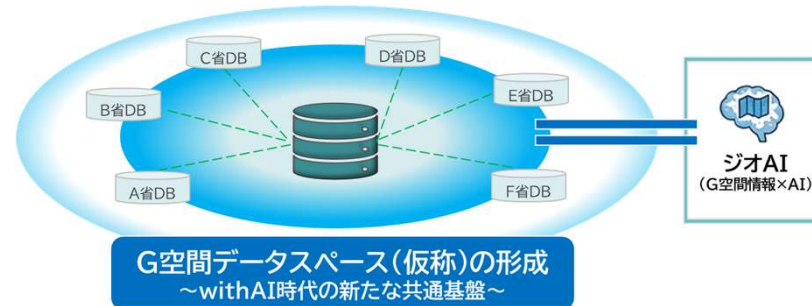
## 3. ジオAIが期待される分野（例）

- 防災・減災、都市計画・交通、不動産、インフラ維持管理、マーケティング、ロボティクス、観光・物流などのほか、分野横断で複合課題の同時解決や、フィジカルAIにも貢献。

## 4. 全体アーキテクチャ（イメージ）

- 全体アーキテクチャは、①価値、②技術（アプリ層、モデル層、連携・流通層、データ層）、③ガバナンスで構成。

## 5. 取組の方向性



### ① 地理空間情報×AI

- ・ 「地理空間情報を適切に処理できるAI」の開発・利用を検討
- ・ ジオAIに係るユースケースの創出 ・基礎研究・共同研究の推進 等

### ② AI-Readyなデータ

- ・ 地理空間情報のオープンデータ化・AI-Ready化指針（品質及び信頼性の確保）の策定
- ・ 公的地理空間情報（国土数値情報、3次元データ等）の整備・更新・AI-Ready化 等

### ③ データ連携・流通基盤

- ・ G空間情報センターのAI拠点化  
例) MCP・RAGなどの技術を用いたAI検索・探索環境の開発・提供
- 例) 空間IDや不動産ID等の提供
- ・ G空間情報センターをハブに「G空間データスペース（仮称）」を形成 等

### ④ ガバナンス

- ・ 信頼性担保・セキュリティ・プライバシー等に関する課題の検討 等

### ⑤ 人材育成

- ・ G空間EXPOやイチBizの活用
- ・ GISとAI研究コミュニティの連携 等

# 「ジオAI研究会」の開催概要

## 研究会の構成員 (50音順・敬称略・◎は座長)

### 【委員】

- 井上 陽介 一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会G空間情報センターセンター長
- 大橋 弘 東京大学大学院経済学研究科教授
- 川島 邦之 一般社団法人LBMA Japan代表理事
- 河端 瑞貴 慶應義塾大学経済学部教授
- 清田 陽司 麗澤大学工学部教授/人工知能学会理事
- 久保 信明 東京海洋大学学術研究院海事システム工学部門教授(令和8年3月まで)
- 越塚 登 東京大学大学院情報学環教授
- 坂下 哲也 一般財団法人日本情報経済社会推進協会常務理事
- ◎柴崎 亮介 麗澤大学副学長/東京大学大学院情報学環・学際情報学府特任教授
- 島崎 康信 株式会社パスコ研究開発センター未来創造グループグループ長
- 高瀬 啓司 ESRIジャパン株式会社ソリューション開発グループ課長
- 布施 孝志 東京大学大学院工学系研究科教授

### 【オブザーバー】

- 公益財団法人 日本測量調査技術協会
- 一般社団法人 地理情報システム学会

### 【関係省庁】

- 内閣官房デジタル行財政改革会議事務局
- 内閣府科学技術イノベーション推進事務局
- 内閣府宇宙開発戦略推進事務局
- 総務省
- 経済産業省
- 国土交通省

### 【事務局】

- 内閣官房地理空間情報活用推進室 (G空間室)
- 国土交通省政策統括官付地理空間情報課
- 国土地理院防災・地理空間情報企画センター地理空間情報企画課

## 各研究会の概要

### ○ 第1回研究会：2026年2月9日開催

#### ◆ 主な議論内容：

- ・ジオAIに関する取り組みを推進する際の「論点・課題」の洗い出し
- ・委員からの発表

#### ◆ 発表委員：

- ・麗澤大学/東京大学大学院 柴崎委員
- ・麗澤大学 清田委員
- ・ESRI ジャパン株式会社 高瀬委員
- ・株式会社パスコ 島崎委員
- ・社会基盤情報流通推進協議会G空間情報センター 井上委員

### ○ 第2回研究会：2026年3月27日開催

#### ◆ 主な議論内容：

- ・ジオAIに関する取り組みを推進する際の「論点・課題」の整理
- ・「取組の方向性」の検討  
(主に「ジオAIの未来・価値」、「実装・エコシステム」について)
- ・産学官ヒアリング① (主に利用者サイド)

#### ◆ ヒアリング先：

- ・川崎重工業株式会社
- ・LocationMind株式会社
- ・つくるAI株式会社
- ・東京大学 日立東大ラボ
- ・一般社団法人 LBMA Japan 川島委員
- ・公益財団法人日本測量調査技術協会 (オブザーバー)
- ・国立研究開発法人防災科学技術研究所

### ○ 第3回研究会：2026年4月20日開催

#### ◆ 主な議論内容：

- ・「取組の方向性」の検討  
(主に「ジオAIのモデル」、「データ整備」、「データ連携・流通」、「進め方 (ガバナンスなど)」について)
- ・産学官ヒアリング②  
(AIモデルやデータ整備、データ連携・流通環境の提供者サイド)

#### ◆ ヒアリング先：

- ・株式会社Preferred Networks
- ・ソフトバンク株式会社
- ・一般社団法人地理情報システム学会 (オブザーバー)
- ・一般財団法人日本情報経済社会推進協会 坂下委員
- ・東京大学大学院 越塚委員

### ○ 第4回研究会：2026年5月25日開催

#### ◆ 主な議論内容：

- ・中間整理案の確認